



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
新春号
(第22号)
2013年1月

【ご挨拶】

すこやかに、新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

皆様の、日頃からの、ご支援ご協力を心より感謝申し上げます。市議会議員として、日々、市民皆様のため、市政発展のため活動しております。日頃の議員活動や市政状況を市民皆様にご報告して、開かれた政治を実現して参ります。これからもご意見やご要望を聞かせていただき「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷の実現に向け、活動して参りますので、変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

新年が、皆様に取りまして、
幸多き年になりますようお祈りいたします。

【議会報告】

深谷市議会 平成24年度 第4回定例会12月議会が終了しました。

主な議案

- ・ふっかちゃん子ども福祉基金条例 (可決)
 - ・手数料条例の一部を改正する条例 (可決)
 - ・都市公園条例の一部を改正する条例 (可決)
 - ・平成24年度一般会計補正予算【第2号】(可決)
 - ・「原発ゼロ」をただちに求める意見書提出への請願 (採択)
- (他、市長提出議案19件・議員提出議案1件・請願1件)

24年度補正予算【第2号】(別表1) 抜粋

(別表1) 平成24年度 深谷市一般会計補正予算 (第2号)

(単位: 千円)

名称	補正前 予算額	補正額	補正後 予算額	事業及び経費の概要
道路照明電気料	49,011	12,470	61,471	・道路照明152基増 ・電気料金等の値上げに伴う増額
障害者日常生活改善事業	1,112	565	1,677	身体障害者手帳の交付対象外の軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費用の一部を助成するもの。
ふっかちゃん子ども福祉基金積立金	0	31,000	31,000	寄附金の基金への積立
ふっかちゃん子ども福祉事業	0	283	283	軽度・中等度難聴児の補聴器購入のための自己負担分の扶助に対し、ふっかちゃん子ども福祉基金を活用するもの
保育園運営事業(私立)	2,161,489	(25,012)	2,186,501	保育園運営費の単価改定 入園児童数の想定以上の増加
老人福祉政策推進事務費	2,634	3,950	6,584	地域支え合いマップの作成
し尿処理対策事業	67,268	9,250	76,518	・燃料費の値上げ ・機械設備の修繕 ・電気料金等の値上げに伴う増額
循環型農業推進事業	56,905	5,700	62,605	・経年劣化による脱水機および攪拌機の修繕費用 ・電気料金等の値上げに伴う増額
農業集落排水事業特別会計繰出金	522,944	3,600	526,544	電気料金値上げに伴う繰出金の増
深谷グリーンパーク管理運営事業	196,397	25,000	221,397	入退場管理システム入替工事
中心市街地商業活性化推進事業	6,685	1,407	8,092	屋台村設置予定地における、トイレ設置に対する補助
スマートIC整備事業	6,361	2,940	9,301	事業費の確定による増
レンガのまちづくり事業	308	144	452	平成23年度申請分についての予算措置による増額



清水の私見

補正予算【第2号】について

長引く不況を考慮しての補正予算を希望していたのですが、その点においては少しガッカリさせられた予算補正でした。気になったのは、福島原子力発電所の事故の影響で、道路照明などの電気料金値上げによる増額補正が提出されました。この点に関しては、東電以外の新電力事業者から入札等

で安く電気が買えないか質問しました。市の回答は来年度から市内小中学校並びに本庁舎などの電気を東電以外の事業者から購入し15ヶ月間で約1,620万円の削減を行うとのことでした。

《ここに注目パート1》“グリーンパーク・パティオ”

現在、改修工事中の「パティオ」ですが、その入退場システム入替工事として2,500万円の補正予算が提出されました。このシステムは8年前に導入されましたが、壊れたと言う事です。私は年収が200万円以下の方が多く、就職さえできない方々もいるのだから、機械ではなく人を採用する考えはないのか質問しました。年200万円で8年間採用できれば1,600万円で済みますし、所得税などの税収も得られます。答弁ではプール内にいる人数を正確に把握したいとのことですが、税金を機械やシステムに再投資するのではなく、市民に行うべきと提言させていただきました。



パティオは、改修工事中で平成25年4月から営業開始です

《ここに注目パート2》“ふっかちゃん・子ども福祉基金”

この基金は、安心して子育てができる環境づくりを推進し、次代を担う子どもたちの健やかな成長に資するための事業に要する経費の財源に充てるため設置するものです。財源は善意ある寄付金と一般会計、また、「ふっかちゃん」を利用した商品を販売する業者から一定の寄付を募ったり、「ふっかちゃん」の着ぐるみ借用者からも同様の寄付を募るとのことでした。



清水の私見

子どもたちの夢を奪わないように!

基金の設置目的には大賛成ですし、善意ある寄付をしていただいた皆様には大変感謝しております。ただ、「ふっかちゃん」の着ぐるみを借りた人から寄付を募る場合、強制的にならないような配慮をするべきと考えます。「ふっかちゃん」の着ぐるみは半日借りて2千円だよ!などと夢のない話が広まらないよう配慮するべきと提言させていただきました。

《ここに注目パート3》都市公園条例の改正

この改正は、野球場やテニスコートなどの使用料について65歳以上及び高校生以下の方を減額するというもので、市営グラウンドなどについても同様に減額となりました。減額になるという事は悪い事ではありませんが、上げたり下げたりすることは、それだけでも相当な経費が掛かります。もう少し最初から慎重に検討すべきだったのではないのでしょうか。

市議会が紛糾!

請願第15号「日本政府がすべての原発からただちに撤退をする決断を行うことを求めます」

この請願は、総務委員会で議論され、委員会では、賛成多数で採択とのことでしたが、本会議にて反対者が出まして、採決の結果、賛成17名、反対7名(議員数議長を除く24名中)で採択と決しました。

私は、賛成の立場で討論させていただきましたが、争点は「ただちに」という文言でしたが、原発から、ただちに撤退をする決断を行うことを求めるもので、何事も決断がされなければ、前には進みません。今、この世に生きる者の責任として、未来を担う子どもたちのために賛成させていただきました。

12月10日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「性、相近きなり。 習、相遠きなり」

論語にある一文ですが、もともと人間一人一人に大きな違いがあるわけではなく、誰もが相近きものです。しかしながら、躰や教育、歴史から学び、身についた習慣により、大きな差がついてくるものだ。という教えです。この教えに習い、日々研鑽しております。

議席番号15番 清水健一、質問通告に基づき市政一般に対する質問に入ります。(質問内容の順序は異なります)

質問1 東京成徳大学深谷中学開校について、市の対応は？

東京成徳大学深谷高校が開校して、今年で半世紀50年を迎えました。そして来年4月には、中学が開校され中高一貫教育がスタートしますが、県内では4校の私立中学が新設され、成徳中学を含めると29校となります。勿論、深谷市では初めての私立中学の開校となる訳ですが、公立であれ、私立であれ、深谷市の大切な子どもたちであることに変わりはありません。そこで質問します。市主催の行事などへの生徒たちの参加について市の方針をお示し下さい。



答弁 私立中学に対しての権限は、教育委員会にはありませんが、市主催の行事などへの案内につきましては、教育委員会が窓口となり行って参ります。

再質問 生徒たちのボランティア活動として、幼稚園でのお手伝いやネギの栽培などを希望した場合、どう対応されますか。

再答弁 教育委員会が窓口となり、対応して参ります。

質問2 “歴史まちづくり法の活用について”



日本煉瓦製造ホフマン輪窯

国では、地域における、その固有の歴史及び伝統を反映した、人々の活動と、その活動が行われる歴史上、価値の高い建造物及び、その周辺の市街地が一体となって形成してきた、良好な市街地環境を歴史的風致地区と定義をして、その維持及び向上を図る事を目的とした法律、歴史まちづくり法を施行しました。重要文化財を擁する深谷市

は、この法律を活用できる条件を整えています。市全体の活性化を考えると、花園インターがある南エリア、農林公園がある東部エリア、そして中心市街地、歴史的史跡や遺跡がある西部エリアから北部エリアを、それぞれの特色を活かしながら発展させるべきと考えますが、いかがですか。

答弁 現在のところ、認定を受ける考えはありませんが、関係各部と調査研究して参ります。

再質問 この法律は、文化庁、国交省、農水省が所管しており、大変使い勝手の良い法律です。治水工事や道路工事、建物工事やお祭りの維持にも利用できます。認定の考えはないとの事ですが、おかしいですね、国交省の資料に深谷市は認定の意向ありと書かれていますが、これは間違いですか。

再答弁 申し訳ありませんが、その資料は把握しておりません。

再々質問 把握していないということですので、これ以上は申し上げませんが、旧富岡製糸工場も渋沢栄一翁が係わり建造され、この度、世界遺産登録に向けて進んでおります。生誕地として後世にそうしたものを残すためにも、是非取組むべきと提言します。

質問3 “新深谷市史編纂について”

昨年3月に発生しました「東日本大震災」での、被災地の皆さん、或いは、国民の思いやりのある、真心のこもった行動が、諸外国で賞賛を浴びました。「日本民族とは、どういう民族なのだろう」と学ぼうとしている外国の方も増えました。日本民族を知るには、最古の清書「古事記」を読むべきと言われております。その古事記が成立して、今年が1300年になります。先人は民族を知る上での素晴らしい書物を残してくれたと思います。一方、深谷を知るには、市史が重要な役割を果たすことは言うまでもありません。旧深谷市史は昭和44年、花園村史は45年に発行され、川本は平成元年、岡部町は長い間、編纂に取組んでこられましたが、平成18年の合併により、通史編纂は発行に至りませんでした。市史編纂には長い年月と民間の協力が必要です。今こそ編纂に取組むべきと考えますが、考えを聞かせて下さい。

答弁 現在のところ、編纂に着手する考えはありませんが、これから調査研究して参ります。

再質問 東日本大震災でも、津波被害について、古文書などから発生時の対応について参考になる記述があり、助かった命も多かったと聞いておりますが、この深谷地域で発生した昭和6年の大地震の記述について、各市町村史の整合性について伺います。

再答弁 昭和6年の大地震についての記述は、それぞれの市町村の被害状況が書かれているものです。

再々質問 深谷市史には、旧富国館製糸工場の煙突が倒れ、数名の子どもが即死、或いは重症を負ったと書かれておりますが、川本町史では、この地震を「比企・大里西部地震」と命名し震源地は比企郡の仙元山付近との記載があり、死者125名、家屋倒壊452戸と書かれています。地質学者の報告では、県内の死者16名、家屋倒壊206戸と発表されています。どれが本当の事ですか。正しい事実を後世に残す事は、市の責務です。考えを聞かせて下さい。



再々答弁 この地震に関しては、様々な説があり正しい記述がないのは確かです。市史編纂を含めて、研究して参ります。

質問を終えて

今後、深谷市をどういう方向に導くかという事が書かれた「総合振興計画・後期計画」が来年度発行されます。その中でも、特色を活かした深谷らしい街づくりを行っていくと書かれています。歴史と文化を活かした街づくりこそが深谷らしいということであると捉えて質問しました。また、1市3町の市町村史も読ませていただきましたが、それぞれの地域の歴史や政治の流れが良く解りました。先人から受け継がれてきたものを、しっかりと後世に残しながら地域を発展させていくという使命を我々は果たさなくてはなりません。私立中学に関する質問においても、良い人材を地域で育てるという思いで行いました。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (51才)

家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族)+愛犬シヨコラ (男の子)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ◎ ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。